

# 資料 1



## 会津若松市第3期環境基本計画策定の進捗状況

### 環境意識調査（アンケート）の集計結果

令和5年2月10日（金）

会津若松市 市民部環境生活課

# 本日の説明内容

1. 第3期環境基本計画策定の進捗状況
2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果
3. 市民ワークショップ開催報告

# 1. 第3期環境基本計画策定の進捗状況

## 1.1 これまでの動き

- ・ 環境意識調査（アンケート）の実施

令和4年7～9月 市民・児童生徒・事業者を対象に実施  
集計結果については後ほど

- ・ 第1回環境審議会の開催

令和4年9月20日開催 第2期計画の進捗状況と第3期計画の  
策定スケジュールについて説明

- ・ 市民ワークショップの開催

令和4年10月28日～11月22日 ワークショップ（全3回）と  
先進事例の現地見学会を実施

# 1. 第3期環境基本計画策定の進捗状況

## 1.2 今後の予定

- ・環境審議会を開催

令和5年6月～令和6年2月 全5回開催予定

今後作成する計画の素案に対し御意見をいただく

- ・パブリックコメントの実施

令和5年12月～令和6年1月 完成した計画案に対し、市民から  
広く意見を募る

- ・答申

令和6年3月 環境審議会より、諮問に対する答申をいただく

- ・計画の公表

令和6年4月 完成した計画を公表する

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.1 環境意識調査の実施概要①

- ・ 実施の目的

市民等の本市の環境に関する現状認識や今後の環境保全等への意向を把握すること

- ・ 実施対象【配布数】

- ①市民【1,102名】

18～84歳の市民から年代・性別ごとに対象を無作為抽出

- ②児童・生徒【747名】

市内各小中学校の小学5年生、中学2年生それぞれ一クラス分の児童・生徒を対象

- ③事業者【1,000社】

商工会議所・法人会等に所属する事業者から事業規模等を勘案して対象を抽出

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.2 環境意識調査の実施概要②

- ・ 調査項目

対象者の属性（年齢、性別、従業員数等）のほか、市の環境の現状について感じていることや環境活動への参加状況など

- ・ 回答方法

- ①市民・事業者

郵送により送付したアンケート用紙による回答、または送付文記載のQRコードからのオンライン回答

- ②児童・生徒

各学校経由で配布したアンケート用紙による回答

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.3 環境意識調査の実施概要③

- ・ 回答数

- ① 市民

- 377件（回答数377／送付数1102＝回答率34.2%）

- ② 児童・生徒

- 609件（回答数609／送付数747＝回答率81.5%）

- ③ 事業者

- 346件（回答数346／送付数1000＝回答率34.6%）

次ページ以降に主な設問と回答について記載しました。

（全ての回答のまとめについては別紙）

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.4 環境意識調査の結果（生活環境）

#### ・設問

会津若松市の「生活環境」についてどのように感じていますか

	回答者	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	無回答
空気や水、土がきれいである	市民	172人 45.6%	165人 43.8%	19人 5.0%	2人 0.5%	19人 5.0%
	児童・生徒	263人 43.2%	291人 47.8%	47人 7.7%	6人 1.0%	2人 0.3%
事業所や工場、自動車などによる騒音や振動が少ない	市民	129人 34.2%	156人 41.4%	58人 15.4%	15人 4.0%	19人 5.0%
	児童・生徒	251人 41.2%	229人 37.6%	89人 14.6%	38人 6.2%	2人 0.3%
事業活動や河川の水質悪化などによる悪臭がない	市民	172人 45.6%	165人 43.8%	19人 5.0%	2人 0.5%	19人 5.0%
	児童・生徒	280人 46.0%	187人 30.7%	99人 16.3%	42人 6.9%	1人 0.2%

#### ・回答に対する考察

概ね生活環境に対する満足度は高いが、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」の回答は市民より児童の方が多く見られた。



## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.4 環境意識調査の結果（環境活動）

#### ・設問

会津若松市の「環境に関する学びと協働」についてどのように感じていますか

	回答者	当てはまる	どちらかといえば当てはまる	どちらかといえば当てはまらない	当てはまらない	無回答
環境保全活動が盛んである	市民	26人 6.9%	161人 42.7%	143人 37.9%	26人 6.9%	21人 5.6%
学校以外にも、環境について学ぶ機会が多い	児童・生徒	112人 18.4%	204人 33.5%	215人 35.3%	66人 10.8%	12人 2.0%
みんなで環境を良くしようとしている	児童・生徒	185人 30.4%	298人 48.9%	96人 15.8%	20人 3.3%	10人 1.6%
ポイ捨てや犬フンの放置などがなくマナーがよい	市民	129人 34.2%	156人 41.4%	58人 15.4%	15人 4.0%	19人 5.0%
	児童・生徒	95人 15.6%	156人 25.6%	207人 34.0%	137人 22.5%	14人 2.3%
自然景観や歴史的景観と調和した美しい街並みがある	市民	172人 45.6%	165人 43.8%	19人 5.0%	2人 0.5%	19人 5.0%
	児童・生徒	253人 41.5%	286人 47.0%	57人 9.4%	5人 0.8%	8人 1.3%

#### ・回答に対する考察

環境保全活動や環境を学ぶ機会について、十分ではないという回答が多く見られたほか、歩道を歩く機会が多いためか、児童・生徒からは「ポイ捨てや犬フンの放置などがなくマナーがよい」という設問に対し、「どちらかといえば当てはまらない」「当てはまらない」という回答が過半数となった。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.5 環境意識調査の結果（参加と実践）

#### ・設問

環境に関する活動への参加や実践について当てはまるものを選んでください

	回答者	積極的に行っている	時々、行っている	行っていないが、興味はある	あまり興味がない	無回答
ゴミ拾いなどの美化活動	市民	19人 5.0%	106人 28.1%	191人 50.7%	53人 14.1%	8人 2.1%
	児童・生徒	63人 10.3%	185人 30.4%	225人 36.9%	133人 21.8%	3人 0.5%
環境に関する講演会・シンポジウムや勉強会などへの参加	市民	3人 0.8%	19人 5.0%	188人 49.9%	161人 42.7%	6人 1.6%
	児童・生徒	27人 4.4%	67人 11.0%	258人 42.4%	255人 41.9%	2人 0.3%
環境に関する調査・分析・研究活動への参加	市民	3人 0.8%	13人 3.4%	189人 50.1%	165人 43.8%	7人 1.9%
	児童・生徒	32人 5.3%	50人 8.2%	264人 43.3%	261人 42.9%	2人 0.3%
自然環境や生活環境を守る活動に対する募金・寄付	市民	3人 0.8%	43人 11.4%	191人 50.7%	134人 35.5%	6人 1.6%
	児童・生徒	61人 10.0%	172人 28.2%	223人 36.6%	150人 24.6%	3人 0.5%

#### ・回答に対する考察

環境に関する活動への参加については、市民、児童・生徒ともに「積極的に行っている」の回答が最も少ない一方で、「行っていないが、興味はある」の回答が多かった。これは、興味はあるが参加する時間がない、あるいはイベント情報が分からないなどの要因が考えられることから、市の事業実施時にはこれらを念頭において事業を構築すべきである。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.6-1 環境意識調査の結果（温暖化への意識）

#### ・設問

あなたは地球温暖化問題についてどのように考えますか

		大きな問題であり 自分の生活にも 影響は大きい	大きな問題だが 自分の生活には 影響は少ない	大きな問題では ない	わからない	その他	無回答
市民	回答数	268人	77人	8人	16人	4人	4人
	割合	71.1%	20.4%	2.1%	4.2%	1.1%	1.1%
児童・生徒	回答数	383人	137人	7人	77人	1人	4人
	割合	62.9%	22.5%	1.1%	12.6%	0.2%	0.7%

#### ・回答に対する考察

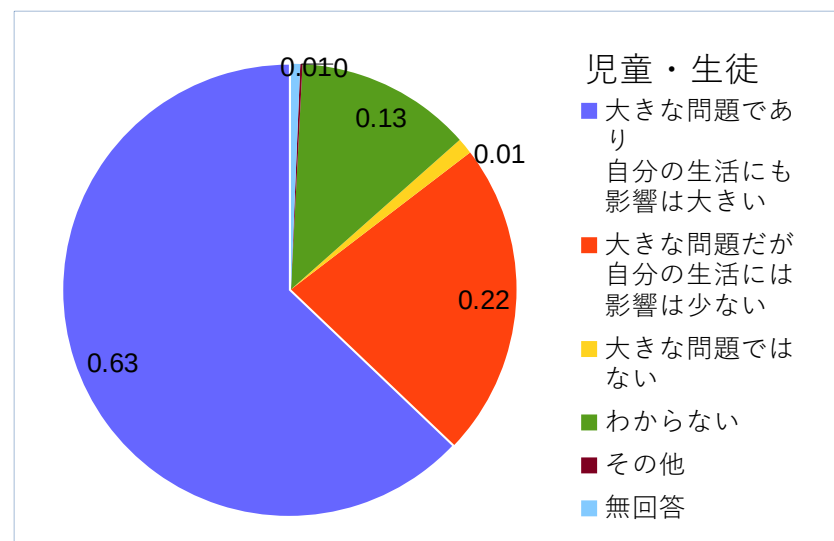
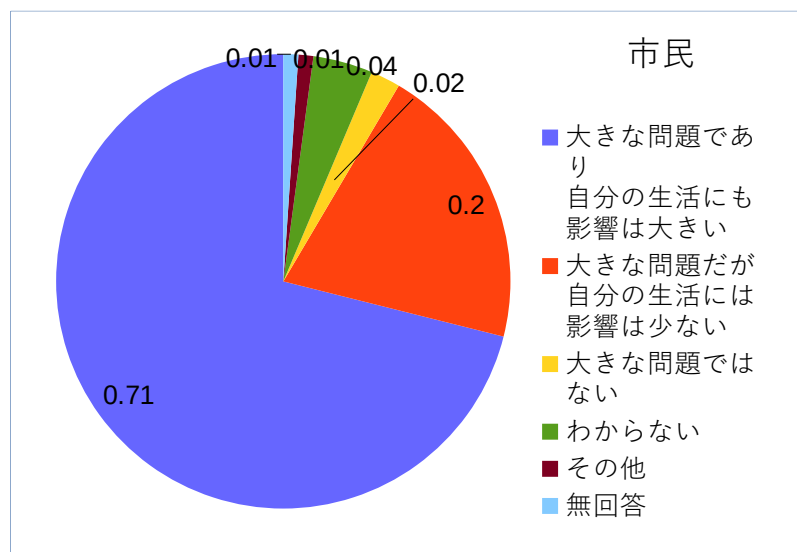
地球温暖化については、児童・生徒よりも市民（成人）の方が生活への影響が大きいと考えているほか、「わからない」という回答が児童・生徒では1割を超えていることから、若年層への温暖化に関する啓発を進めていく必要がある。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.6-2 環境意識調査の結果（温暖化への意識）

#### ・設問

あなたは地球温暖化問題についてどのように考えますか



#### ・回答に対する考察

地球温暖化については、児童・生徒よりも市民（成人）の方が生活への影響が大きいと考えているほか、「わからない」という回答が児童・生徒では1割を超えていることから、若年層への温暖化に関する啓発を進めていく必要がある。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.7-1 環境意識調査の結果（ゼロカーボンシティ）

#### ・設問

「ゼロカーボンシティ会津若松宣言」の内容を知っていましたか

		知っていた	知らなかった	無回答
市民	回答数	58人	263人	56人
	割合	15.4%	69.8%	14.9%
児童・生徒	回答数	85人	523人	1人
	割合	14.0%	85.9%	0.2%
事業者	回答数	90人	227人	29人
	割合	26.0%	65.6%	8.4%

#### ・回答に対する考察

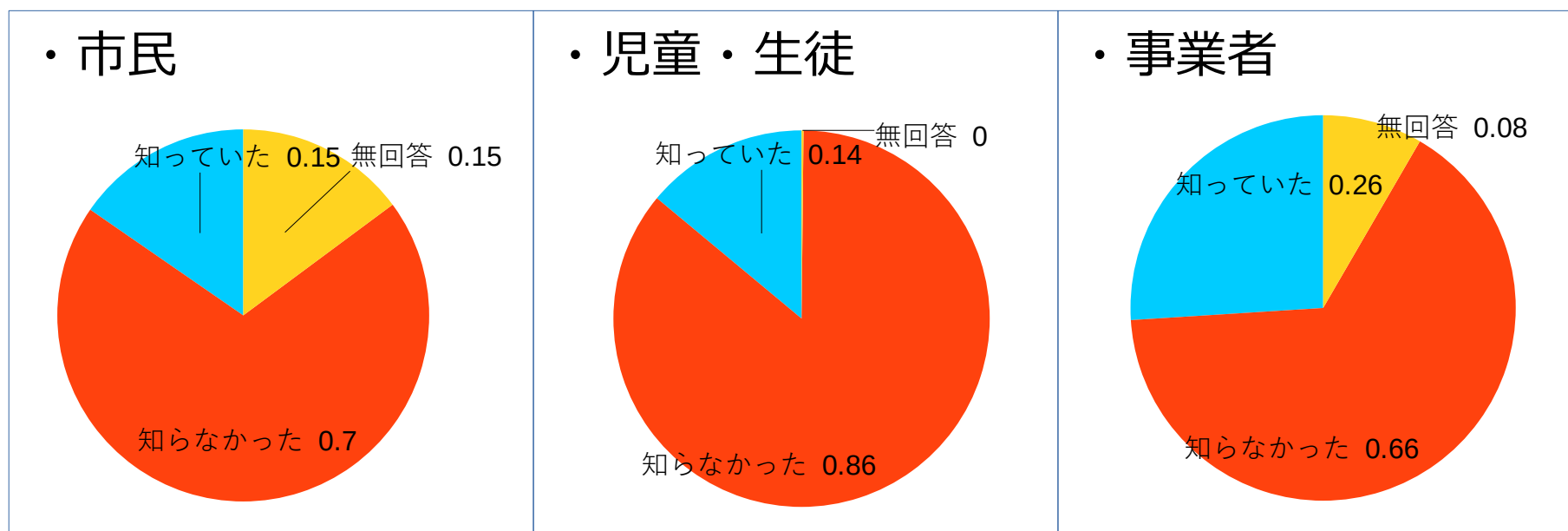
「ゼロカーボンシティ会津若松宣言」については、令和3年12月の宣言から約半年後の調査結果として、一定程度の認知度があるものと考えられる。今後も市の脱炭素・環境保全の推進のため、積極的に情報発信を行っていく必要がある。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.7-2 環境意識調査の結果（ゼロカーボンシティ）

#### ・設問

「ゼロカーボンシティ会津若松宣言」の内容を知っていましたか



#### ・回答に対する考察

「ゼロカーボンシティ会津若松宣言」については、令和3年12月の宣言から約半年後の調査結果として、一定程度の認知度があるものと考えられる。今後も市の脱炭素・環境保全の推進のため、積極的に情報発信を行っていく必要がある。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.8 環境意識調査の結果（SDGs①）

#### ・設問【事業者】

設問 SDGsへの貢献の視点を持った経営、事業活動を行っていますか

事業者	1行っている	2対応を検討中	3関心はあるが対応を検討していない	4関心がない	5SDGsを知らない	6無回答
回答数	70社	78社	141社	16社	20社	21社
割合	20.2%	22.5%	40.8%	4.6%	5.8%	6.1%

#### ・回答に対する考察

SDGsを経営や事業活動に取り入れることについて、40%以上が実施若しくは実施を検討しており、また関心がある層についてもおよそ40%に上った。関心がない、またはSDGsを知らない層への周知・啓発は必要であるが、「関心はあるが対応を検討していない」事業者に対し対応を促す取組も重要である。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.9 環境意識調査の結果（SDGs②）

#### ・設問【事業者】

設問 SDGsを経営や事業活動に取り入れる上での課題はありますか

※前の設問で「関心はあるが、対応を検討していない」と回答した事業者のみ

事業者	選択肢	回答数	回答率
関心はあるが、対応を検討していない 141社	1経営や事業活動にどうSDGsを取り入れてよいか分からない	85	60.3%
	2業種や事業内容がSDGsにそぐわないものと考えている	15	10.6%
	3取り組みを推進する人材がない	54	38.3%
	4業務量の増加につながり、取り組む時間が確保できない	43	30.5%
	5取り組むためのコストが負担できない	35	24.8%
	6取り組んだことによる効果が見込めない	18	12.8%
	7相談先がわからない	13	9.2%
	8取引先や従業員の理解が得られない	0	0.0%
	9その他	4	2.8%

#### ・回答に対する考察

SDGsに関心はあるが、経営に取り入れられていない原因について、「どうSDGsを取り入れてよいか分からない」が最も多く、次いで「取り組みを推進する人材がない」「業務量の増加につながり、取り組む時間が確保できない」が続いた。これらについては、見倣い易い先進事例などの情報提供を行うことが、普及に効果的であると考えられる。



## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.10 環境意識調査の結果（太陽光発電①）

#### ・設問

あなたはご自宅・事務所に太陽光発電システムを設置していますか

		設置している	設置していないが 興味はある	設置しておらず 興味はない	無回答
市民	回答数	32人	176人	166人	3人
	割合	8.5%	46.7%	44.0%	0.8%
事業者	回答数	29人	129人	183人	5人
	割合	8.4%	37.3%	52.9%	1.4%

#### ・回答に対する考察

太陽光発電システムの導入については、市民・事業者ともに約8.5%と、約12軒に1軒が設置しているという結果になった。しかし設置に興味がないという回答もおよそ半数あり、今後の普及に当たってはこれらの層に興味を持ってもらう取組が必要である。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.11 環境意識調査の結果（太陽光発電②）

#### ・設問

太陽光発電システムを設置した理由は何ですか（複数選択可）

※太陽光を設置している方のみ回答、回答が多かった順に5つずつ記載

		1	2	3	4	5
市民	選択肢	光熱費が安くなるから	発電した電気を売ることができるから	災害の時に電気が使えるから	環境に良いことだから	補助金があったから
	回答数	25人	23人	14人	13人	12人
	割合	78.1%	71.9%	43.8%	40.6%	37.5%
事業者	選択肢	発電した電気を売ることができるから	環境に良いことだから	光熱費が安くなるから	災害の時に電気が使えるから	補助金があったから
	回答数	14人	13人	12人	12人	5人
	割合	48.3%	44.8%	41.4%	41.4%	17.2%

#### ・回答に対する考察

設置した理由については、光熱費の低減、売電収入など経済的な理由が多く、そのほか災害時の備えとする回答も見られた。また補助金が設置の後押しとなったという回答もあり、これらは今後の普及促進の参考となるものと考えられる。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.12 環境意識調査の結果（太陽光発電③）

#### ・設問

太陽光発電システムを設置していない理由は何ですか（複数選択可）

※太陽光を設置していない方のみ回答、回答が多かった順に5つずつ記載

		1	2	3	4	5
市民	選択肢	設置費用が高額だから	メンテナンスが大変そうだから	補助金や減税措置が十分ではないと感じるから	アパートやマンション、借家などのためできないから	設置の効果がわからないから
	回答数	212人	156人	91人	80人	73人
	割合	62.0%	45.6%	26.6%	23.4%	21.3%
事業者	選択肢	設置費用が高額だから	メンテナンスが大変そうだから	補助金や減税措置が十分ではないと感じるから	建物の築年数や屋根の形状により設置できないから	設置の効果がわからないから
	回答数	180人	82人	72人	62人	61人
	割合	57.7%	26.3%	23.1%	19.9%	19.6%

#### ・回答に対する考察

設置していない理由については、市民、事業者ともに費用や維持管理、効果に対する懸念が多く見られた。設置している理由同様、太陽光発電の普及に当たっては、これらを解消するような取組や補助制度などを検討していく必要がある。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.13 環境意識調査の結果（電気自動車①）

#### ・設問

あなたはご自宅・事務所で電気自動車を使用していますか

		使用している	使用していないが、興味はある	使用しておらず、興味はない	無回答
市民	回答数	14人	232人	131人	0人
	割合	3.7%	61.5%	34.7%	0.0%
事業者	回答数	16社	207社	121社	2社
	割合	4.6%	59.8%	35.0%	0.6%

#### ・回答に対する考察

太陽光発電システムに比べて導入率は低いが、「使用していないが、興味がある」と回答した割合は太陽光発電よりも高かった。燃料費の高騰や、2030年代中の純ガソリン車の販売終了の報道などから注目度が高まっているものと考えられる。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.14 環境意識調査の結果（電気自動車②）

#### ・設問

電気自動車を導入した理由は何ですか（複数選択可）

※電気自動車を使用している方のみ回答、回答が多かった順に5つずつ

		1	2	3	4	5
市民	選択肢	環境に良いことだから	ガソリン車に比べて燃料費が安くなるから	災害の時に電気が使えるから	メーカーや販売店に勧められたから	デザインや色、走りなど車として魅力があるから
	回答数	9人	6人	4人	3人	3人
	割合	64.3%	42.9%	28.6%	21.4%	21.4%
事業者	選択肢	ガソリン車に比べて燃料費が安くなるから	環境に良いことだから	メーカーや販売店に勧められたから	災害の時に電気が使えるから	社員への教育となるから
	回答数	12社	10社	3社	2社	1社
	割合	75.0%	62.5%	18.8%	12.5%	6.3%

#### ・回答に対する考察

利用者が少ないため回答数は少ないが、市民・事業者ともに燃料費の削減と環境への影響が多く理由にあげられた。また少数ながら災害時の備え（蓄電池の代わり）としている回答も見られた。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.15 環境意識調査の結果（電気自動車③）

#### ・設問

電気自動車を導入していない理由は何ですか（複数選択可）

※電気自動車を使用していない方のみ回答、回答が多かった順に5つずつ

		1	2	3	4	5
市民	選択肢	購入費用が高額だから	会津地方に充電場所が少ないから	航続距離（満充電の状態から充電をせずに走れる距離）に不安があるから	雪道・悪路・悪天候に弱そうだから	充電時間が長くかかりそうだから
	回答数	246人	147人	146人	120人	113人
	割合	67.8%	40.5%	40.2%	33.1%	31.1%
事業者	選択肢	購入費用が高額だから	雪道・悪路・悪天候に弱そうだから	会津地方に充電場所が少ないから	航続距離（満充電の状態から充電をせずに走れる距離）に不安があるから	事業所に充電設備を設置できないから
	回答数	193社	123社	122社	117社	72社
	割合	58.8%	37.5%	37.2%	35.7%	22.0%

#### ・回答に対する考察

太陽光発電同様に費用に関する懸念が最も多く、次いで充電場所や航続距離、悪路の走行性能などに不安があるという意見が多かった。市民は日常での、事業者は業務での使用をそれぞれ想定して回答しているものと考えられる。また、実際の移動手段として使用するためか、導入にあたっては太陽光より厳しい目が向けられているものと考えられる。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.16 環境意識調査の結果（暖房器具①）

#### ・設問

ご自宅・事務所の暖房器具について、最も使用しているものは何ですか

		エアコン、パネルヒーターなどの電気を使う暖房器具	灯油ストーブなどの灯油を使う暖房器具	ガスファンヒーターなどのガスを使う暖房器具	薪ストーブ、ペレットストーブなどの木を使う暖房器具	その他
市民	回答数	158人	191人	7人	4人	1人
	割合	41.9%	50.7%	1.9%	1.1%	0.3%
事業者	回答数	157社	145社	18社	7社	2社
	割合	45.4%	41.9%	5.2%	2.0%	0.6%

#### ・回答に対する考察

市民・事業者とも、回答がほぼ電気または灯油を使う暖房器具となっており、市民では灯油、事業者では電気がやや多かった。これはそれぞれ管理のしやすさから選択されているものと考えられる。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.17 環境意識調査の結果（暖房器具②）

#### ・設問

その暖房器具を使っている理由は何ですか（複数選択可）

※「灯油」「ガス」を使用していると回答した方のみ回答、回答が多かった順に5つずつ

		1	2	3	4	5
市民	選択肢	すぐに暖くなるから	使い方をよく知っているから	昔から使っており、買い替えるきっかけがないから	温度の調整が楽だから	停電しても使えるから
	回答数	130人	82人	75人	52人	48人
	割合	65.7%	41.4%	37.9%	26.3%	24.2%
事業者	選択肢	すぐに暖くなるから	昔から使っており、買い替えるきっかけがないから	燃料費が安いから	温度の調整が楽だから	使い方をよく知っているから
	回答数	95人	56人	46人	46人	46人
	割合	58.3%	34.4%	28.2%	28.2%	28.2%

#### ・回答に対する考察

市民・事業者ともに「すぐに暖くなるから」という回答が一番多く、「温度の調節が楽だから」の回答と併せて、電気による暖房は使いづらい（暖かくなりづらい）と感じていると考えられる。また現在の器具が使い慣れている、買い替えるきっかけがないなど、灯油・ガスに慣れている層は電気暖房になじみがないことも回答から見て取れた。



## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.18-1 環境意識調査の結果（再エネ利用）

#### ・設問

会津産の再生可能エネルギー100%の電力を契約できるとしたら、どう思いますか

		今よりも電気代が高くなっても利用したい	今よりも電気代が変わらないぐらいなら利用したい	今よりも電気代が安くなるなら利用したい	金額にかかわらず、今の契約を変えるつもりはない	その他	無回答
市民	回答数	7人	111人	172人	34人	12人	41人
	割合	1.9%	29.4%	45.6%	9.0%	3.2%	10.9%
事業者	回答数	11社	119社	144社	33社	19社	20社
	割合	3.2%	34.4%	41.6%	9.5%	5.5%	5.8%

#### ・回答に対する考察

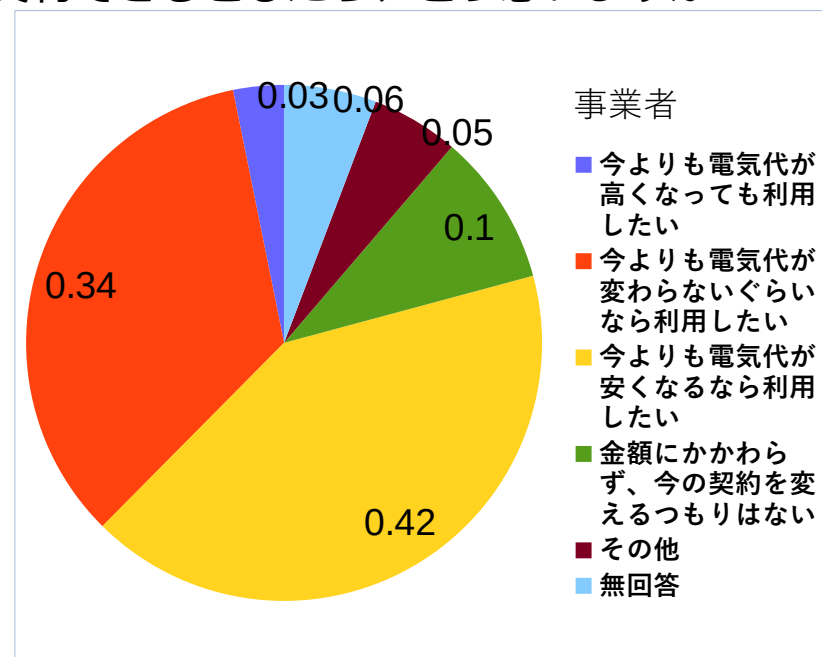
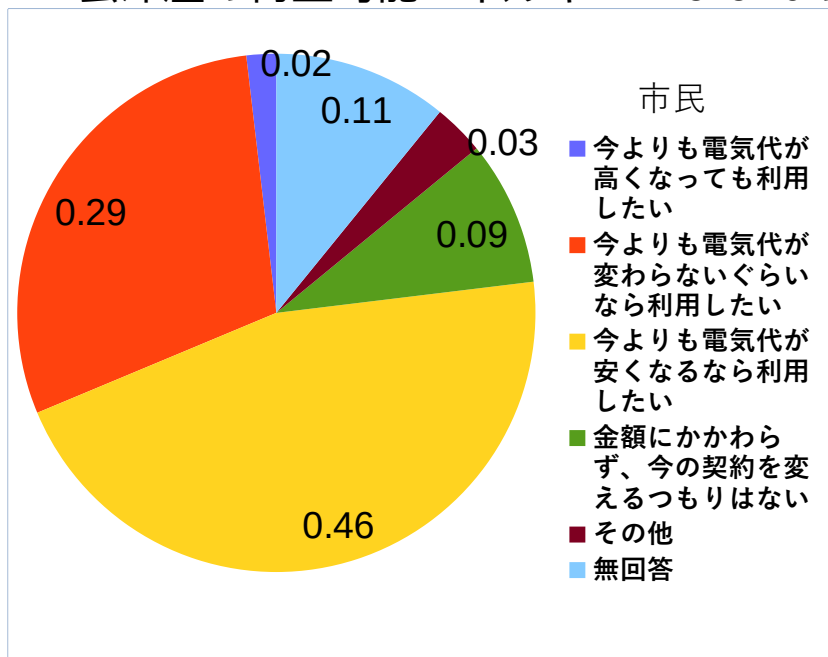
再生可能エネルギー由来の電力については、市民・事業者ともに、費用負担が増加してまで導入しようとは思っておらず、経済性が優先されていることが結果から分かった。再エネ由来電気の普及にあたっては、低価格化がカギとなるものと考えられる。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.18-2 環境意識調査の結果（再エネ利用）

#### ・設問

会津産の再生可能エネルギー100%の電力を契約できるとしたら、どう思いますか



#### ・回答に対する考察

再生可能エネルギー由来の電力については、市民・事業者ともに、費用負担が増加してまで導入しようとは思っておらず、経済性が優先されていることが結果から分かった。再エネ由来電気の普及にあたっては、低価格化がカギとなるものと考えられる。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.19 環境意識調査の結果（放射線①）

#### ・設問

現在の会津若松市の放射線量について、どう感じていますか

		とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない	無回答
市民 (前回)	回答数	28人	94人	152人	58人	39人
	割合	7.5%	25.3%	41.0%	15.6%	10.5%
市民 (今回)	回答数	9人	60人	189人	101人	18人
	割合	2.4%	15.9%	50.1%	26.8%	4.8%

		とても不安	どちらかといえば不安	あまり不安ではない	不安ではない	わからない	無回答
児童・生徒 (前回)	回答数	64人	147人	239人	128人	-	34人
	割合	10.5%	24.0%	39.1%	20.9%	-	5.6%
児童・生徒 (今回)	回答数	84人	176人	153人	73人	110人	13人
	割合	13.8%	28.9%	25.1%	12.0%	18.1%	2.1%

#### ・回答に対する考察

放射線への不安については前回調査（H30実施）との比較とした。市民（成人）では不安に思う割合が減少している一方、児童・生徒は増加していた。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.20 環境意識調査の結果（放射線②）

#### ・設問

貴事業所の事業活動に対する放射線の影響（風評被害を含む。）はありますか

		影響はある	影響はない	わからない	無回答
事業者 (前回)	回答数	19社	40社	14社	26社
	割合	19.2%	40.4%	14.1%	26.3%
事業者 (今回)	回答数	20社	230社	84社	12社
	割合	5.8%	66.5%	24.3%	3.5%

#### ・回答に対する考察

放射線の影響について前回調査（H30実施）と比較した。「影響はある」と回答した割合は19.2%から5.8%と減少した一方、「影響はない」と回答している割合が25%以上増加しており、風評被害などの放射線の影響については、大きく改善してきていることが見て取れる。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.21 環境意識調査の結果（クロス集計①）

#### ・設問【市民】

設問A あなたの年齢は

設問B あなたは地球温暖化問題についてどのように考えますか

※各年代ごとの割合を計算している

市民	大きな問題であり、自分の生活にも影響は大きい	大きな問題だが、自分の生活には影響は少ない	大きな問題ではない	わからない	その他	合計
10歳代	62.5%	25.0%	0.0%	12.5%	0.0%	100%
20歳代	84.4%	12.5%	0.0%	0.0%	3.1%	100%
30歳代	74.0%	20.0%	2.0%	4.0%	0.0%	100%
40歳代	78.3%	13.3%	5.0%	3.3%	0.0%	100%
50歳代	72.7%	21.8%	1.8%	3.6%	0.0%	100%
60歳代	64.0%	24.4%	2.3%	5.8%	3.5%	100%
70歳以上	69.5%	24.4%	1.2%	4.9%	0.0%	100%

#### ・回答に対する考察

地球温暖化が自分の生活に及ぼす影響が大きいと考えている割合は、10代が最も低く、20代になると増加し60代からまた減少傾向にある。この傾向の要因は明確には分からないが、地球温暖化に関する教育や報道に触れる機会の多い世代が、影響が大きいと回答している可能性が高いものと考えられるため、10代以下、または60代以上の市民へどのように啓発していくかが今後の課題である。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.22 環境意識調査のまとめ①

調査結果について

- ・ 生活環境、自然環境については概ね守られていると感じている市民が多い一方、保護活動への参加率は高くない。
- ・ 温暖化への対応についても、危機意識はあるものの経済的な負担などから再エネ等の導入は敬遠されがちである。
- ・ 児童、生徒については水質汚濁やポイ捨てなど身近な環境への意識が高い反面、地球温暖化等への問題意識がやや市民より低い結果であった。
- ・ 事業者では環境配慮の取組について意欲はあるものの、何から始めるべきか、費用や人手はどうするのかなどの課題が取組を妨げる要因となっている。

## 2. 環境意識調査（アンケート）の集計結果

### 2.23 環境意識調査のまとめ②

調査結果について

今後は調査の分析結果をもとに、

- ①市民が理想とする本市の環境のあるべき姿
- ②それを実現するために達成すべき目標
- ③そのために必要となる施策とその実施方針

などを検討し、第3期環境基本計画に反映していく。

また、審議会委員の皆様からは、今回の調査結果についての意見をいただくとともに、今後提供する2次データ（複数回答のクロス集計結果等）についても計画の検討資料としていただきたい。